

**日本写真測量学会平成22年度年次学術講演会
プログラム**

開催日時：

平成22年5月17日（月） 10時30分～17時15分
17時30分～
5月18日（火） 10時30分～15時00分

懇親会会場： An棟1階 「Capo」

参加費： 会員 2,000円 非会員 3,000円 学生 2,000円（会員・非会員共）（いずれも論文集代含む）

懇親会会費： 4,000円（学生 3,000円）

[15時30分～ 第49回通常総会開催 会場： 3階大会議室]

開催場所：

東京大学生産技術研究所 An棟（コンベンションホールおよび大会議室）
〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1
URL: <http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html>

第1日目 5月17日（月）

10:30-10:45

開会のあいさつ

会長 村井 俊治

コンベンションホール（An棟2階）	
セッションA	リモートセンシング(農業) 司会：遠藤 貴宏（東京大学）
10:45-11:00 A-1	航空機搭載ハイパースペクトルセンサによる採草地牧草の収量推定と草種判別 ○中澤 明寛・三谷 琢司(アジア航測)・河合 雅己(資源・環境観測解析センター)
11:00-11:15 A-2	樹木水分ストレス推定のための緑葉分光特性計測装置の試作開発 ○兵頭 竜二(長崎県工業技術センター)
11:15-11:30 A-3	包絡線上の仮想反射率を用いた稲葉SPAD値の推定 ○向山 信治・宇都 有昭・小杉 幸夫(東京工業大学)

大会議室（An棟301・302）	
セッションF	地理情報システム(1) 司会：井上 亮（東京大学）
10:45-11:00 F-1	空間的な相関を考慮した面補間法 ○村上 大輔・堤 盛人(筑波大学)
11:00-11:15 F-2	GISを用いた首都圏広域における住宅地価格の推計 ○嶋田 章・堤 盛人(筑波大学)
11:15-11:30 F-3	気球を使った地理空間情報についての教育プログラム ○北市 将平・徳永 光晴・市原 学(金沢工業大学)

11:30-13:00

昼食

セッションB	
13:00-13:15 B-1	リモートセンシング(合成開口レーダ) 司会：野中 崇志（パスコ） 路面雪氷観測のためのCIP法を用いたマイクロ波散乱シミュレーション ○手塚 隼人・Josaphat Tetuko Sri Smantyo・久世 宏明(千葉大学)
13:15-13:30 B-2	ALOS/PALSARデータによるサトウキビ圃場抽出と生育状況把握に関する検討 ○森田 太一・原口 正道(国際航業)・その他3名
13:30-13:45 B-3	円偏波合成開口レーダ搭載無人航空機(CP-SAR UAV)の開発 ○ヨサファット テトオコ スリ スマンティヨ(千葉大学)

セッションG	
13:00-13:15 G-1	地理情報システム(2) 司会：徳永 光晴（金沢工業大学） 不法投棄地点における地理的特徴の解析 ○丹波 澄雄・長尾 諭(弘前大学)
13:15-13:30 G-2	災害情報収集・伝達システムの開発 ○佐藤 壮紀・吉田 健一・橋 悠希子(国土地理院)
13:30-13:45 G-3	ネパール西部の地震による斜面崩壊危険性の検討 ○佐藤 浩(国土地理院)・八木 浩司(山形大学)

13:45-14:00

休憩

セッションC	
14:00-14:15 C-1	リモートセンシング(大気・環境) 司会：梶原 康司（千葉大学） 衛星画像から算出した地表面アルベドの影響評価 ○橋浦 貴裕・後藤 真太郎・白木 洋平(立正大学)
14:15-14:30 C-2	NOAA/AVHRRデータを用いた関東地方における明け方の地表面温度の特徴と形成要因に関する研究 ○白木 洋平(立正大学)・近藤 昭彦(千葉大学)
14:30-14:45 C-3	デジタルカメラを用いた大気混濁度推定(III) ○森山 雅雄・近藤 拓実(長崎大学)

セッションH	
14:00-14:15 H-1	レーザ計測(1) 司会：其阿彌 大祐（アジア航測） レーザスキャナを用いた地上森林計測における複数点観測の最適化に関する研究 ○渡辺 行彦・梶原 康司・本多 嘉明(千葉大学)
14:15-14:30 H-2	航空レーザ計測時のための照射シミュレーションの基礎研究 ○小暮 利雄(パスコ)・遠藤 貴宏(東京大学)・島村 秀樹(パスコ)
14:30-14:45 H-3	鉄穴流し跡地におけるレーザ植生図作成と地形解析 ○小荒井 衛・中埜 貴元・佐藤 浩(国土地理院)

14:45-15:00

休憩

セッションD	
15:00-15:15 D-1	測位・変動解析 司会：丹波 澄雄（弘前大学） IKONOS画像を用いた変動地域の抽出および経済的被害評価 ○橋本 恒平・沖 一雄(東京大学)・山田 聡(三菱商事)
15:15-15:30 D-2	2006/2008年における列島三角網の面積変動 ○荒木 春視(環境地質研究所)・村井 俊治(日本測量協会)
15:30-15:45 D-3	災害地のGPS日々座標データF2/F3比較 ○荒木 春視(環境地質研究所)・村井 俊治(日本測量協会)

セッションI	
15:00-15:15 I-1	レーザ計測(2) 司会：中川 雅史（芝浦工業大学） レーザースキャナ搭載小型無人ヘリコプターを用いた高精細 DSM作成手法に関する研究 ○平 進太郎・梶原 康司・本多 嘉明(千葉大学)
15:15-15:30 I-2	LiDARデータの間パルスも用いた林分垂直構造把握手法の検討 ○大野 勝正・小川 吉平(アジア航測)・その他2名
15:30-15:45 I-3	航空機または地上型レーザ測量による炭素クレジット認証 ○加藤 顕・小林 達明(千葉大学)・中村 裕幸(DCMC)
15:45-16:00 I-4	航空機LiDARデータからの密集市街地における三次元都市モデル生成アルゴリズムの構築 ○須崎 純一・幸良 淳志(京都大学)・児島 利治(岐阜大学)

16:00-16:15

休憩

セッションE	
16:15-16:30 E-1	画像処理・アルゴリズム 司会：松岡 真如（高知大学） 周期パターン領域自動抽出アルゴリズムへの分散処理手法の導入に関する研究 井上 洋平・○丹波 澄雄(弘前大学)
16:30-16:45 E-2	単画像航空機写真による地震災害地抽出 ○朴 鍾杰(東京情報大学)・朱 林・島村 秀樹(パスコ)
16:45-17:00 E-3	建築図面データを用いた天空障害図の生成 ○中川 雅史(芝浦工業大学)・その他3名
17:00-17:15 E-4	モバイルマッピングシステムによる計測データを用いた既存道路地図の修正に関する実証的研究 ○山崎 敏宣・石川 貴一朗(早稲田大学)・角本 繁(東京工業大学)

17:30-19:30

懇親会 会場： An棟1階「Capo」
会費： 4,000円（学生 3,000円）

第2日目 5月18日(火)

コンベンションホール (An棟2階)		
セッションJ	リモートセンシング(土地利用・土地被覆) 司会: 山下 恵 (近畿測量専門学校)	
10:30-10:45	J-1	中国陝西省におけるトキ生息地の時系列変化 ○望月 翔太・村上 拓彦(新潟大学)
10:45-11:00	J-2	分類手法別ならびに画像データ別にみた森林タイプ分類の精度比較 ○村上 拓彦・相澤 賢太郎・望月 翔太(新潟大学)
11:00-11:15	J-3	多時期地上反射率データ対象とした広域土地被覆分類アルゴリズムの開発 ○前田 美季雄・福江 潔也(東海大学)・その他1名
11:15-11:30	J-4	離散的状態空間モデルを用いた地表面冠水率分布の推定 ○澤田 義人(東京大学)

大会議室 (An棟301・302)		
セッションM	システム・応用 司会: 武田 浩志 (国際航業)	
10:30-10:45	M-1	リアルタイムLiveView / 全周囲映像の即時配信システムの構築 ○池田 辰也・織田 和夫・辻 求(アジア航測)
10:45-11:00	M-2	3-D Light Model / 全周囲パノラマ映像表示を応用した仮想空間の高速表示手法 ○織田 和夫・池田 辰也・武藤 良樹(アジア航測)
11:00-11:15	M-3	座親式庭園の景観に対する定量分析について ○國井 洋一(東京農業大学)・八木 健人(竹中庭園緑化)
11:15-11:30	M-4	加速度センサによる歩行計測とリラクゼーション音楽効果 ○鶴岡 政子・柴崎 亮介(東京大学)・村井 俊治(日本測量協会)

11:30-13:00

昼食

セッションK	リモートセンシング(補正手法) 司会: 森山 雅雄(長崎大学)	
13:00-13:15	K-1	双方向反射率シミュレータを利用したMODISの大气補正済み双方向反射率の検証 ○小野 祐作・梶原 康司・本多 嘉明(千葉大学)
13:15-13:30	K-2	NOAA/AVHRRの経年変化に起因するNDVI誤差の補正手法 ○丹波 澄雄・福田 圭介(弘前大学)
13:30-13:45	K-3	RPCと地上基準点を用いたAVNIR-2の幾何精度の評価 ○松岡 真如(高知大学)・高木 方隆(高知工科大学)

セッションN	レーザ計測(3) 司会: 垣内 力(朝日航洋)	
13:00-13:15	N-1	LIDARデータによる曲面形状の屋根の3Dレンダリング ○遠藤 貴宏・沢田 治雄(東京大学)
13:15-13:30	N-2	大縮尺地盤DEMによる微地形判読手法に関する研究 ○平 春・范 海生・後藤 真太郎(立正大学)
13:30-13:45	N-3	航空機LIDARを用いた森林域の地盤標高モデル作成の試み ○范 海生(立正大学)・李 剣巧(清華大学)・後藤 真太郎(立正大学)

13:45-14:00

休憩

セッションL	リモートセンシング(合成開口レーダ2) 司会: 村上 拓彦(新潟大学)	
14:00-14:15	L-1	2時期SARの差分セグメントソートにおける単偏波処理と多偏波処理の比較 ○中川 雅史・鈴木 貴之(芝浦工業大学)
14:15-14:30	L-2	高分解能XバンドSAR画像を利用した浸水域の推定 ○吉川 和男・山根 尚文(パスコ)・山口 芳雄(新潟大学)
14:30-14:45	L-3	TerraSAR-Xを用いた水稻収量の推定 ○木村 篤史・島村 秀樹(パスコ)

セッションO	地形解析・シミュレーション 司会: 國井 洋一(東京農業大学)	
14:00-14:15	O-1	高解像度衛星画像の標定精度検証およびDSM抽出精度検証 ○新名 恭仁・真屋 学(アジア航測)
14:15-14:30	O-2	原資料の違いによる盛土地形形状の差とそれが盛土脆弱性評価に与える影響 ○中埜 貴元・小荒井 衛(国土地理院)
14:30-14:45	O-3	新門司埋立地の高潮水害の再現 ○小川 進(東京大学)・齋藤 恵介(国際航業)・岡田 尚樹(三井倉庫)

14:45-15:00

閉会のあいさつ

副会長 近津 博文

15:30-16:30

日本写真測量学会・第49回通常総会 於: 3階 大会議室